

事務事業評価シート(事後評価)

事業コード 4-3-3	事務事業名 地域リハビリテーションの構築について調査・研究	所管部課 市民部 健康課
----------------	----------------------------------	--------------------

施策コード 笑2-1	施策名 健康づくりの推進	施策目標 乳幼児から高齢者まで、それぞれのライフステージに応じた、からだところの健康づくりを支援します。
---------------	-----------------	---

事務事業の概要	事務事業の目的	根拠法令等
	事業内容・実施方法等／補助の概要：補助団体の概要(団体名・団体の活動内容・補助金の活用内容等)、補助金の概要(国・都基準の有無・対象者拡大の有無・上乗せ補助額・市単独補助額)等 ※該当する予算事業名・節目を明記する	<input type="checkbox"/> 法律 <input type="checkbox"/> 条例・規則 <input type="checkbox"/> 政令・省令 <input checked="" type="checkbox"/> 要綱・要領
	①庁内検討委員会年1回、②作業部会年3回、③症例検討会年1回、④リハビリ施設見学会実施、③④については参加者へアンケート実施、その結果について①②で検討する。補助金…なし (04.01.03.07機能訓練事業費)	
事業開始時期	合併前 年度	実施形態 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他 ()

項目	単位	22年度	23年度	24年度	25年度
事業費(A)		38	36	38	42
財源内訳					
国庫支出金・都支出金		0	0	0	0
地方債	千円	0	0	0	0
その他 ()		0	0	0	0
一般財源		38	36	38	42
所要人員(B)	人	0.2	0.2	0.2	0.2
人件費(C)=平均給与×(B)	千円	1,616	1,633	1,540	1,647
臨時職員賃金等(C')	千円	0	0	0	0
総コスト(D)=(A)+(C)+(C')	千円	1,654	1,669	1,578	1,689
単位当たりコスト (E)=(D)/(症例検討会参加者数)	千円	15	13	17	0

活動等指標	単位	22年度	23年度	24年度	25年度
① 症例検討会参加者数	実績値 人	111	127	92	
② リハビリ施設見学会参加者数	実績値 人	未実施	52	37	
《指標の説明・数値変化の理由 など》 リハビリ施設見学会は、施設の受け入れ人数が23年度52名から24年度37名と減少している。					
成果指標	単位	22年度	23年度	24年度	25年度
一 次 症例検討会新規参加者	目標値 人				
	実績値 人	不明	不明	28	
二 次 リハビリ施設見学会新規参加者	目標値 人				
	実績値 人	未実施	不明	27	
《指標の説明・数値変化の理由 など》 24年度は新規参加者の割合は、症例検討会で全参加者の30.4%、施設見学会は73.0%を占めている。					

事業環境等	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	外部より出席している作業部会委員より、在宅生活を支える家族やケアマネジャー等の関係者に十分な医療情報が伝わっていないため、症例検討会およびリハビリ施設見学会を通して他職種の連携が必要であるとの意見を受けている。
	都内26市のサービス水準との比較 (平均値、本市の順位など)	<input checked="" type="checkbox"/> 上 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 下 市町村として、同事業を行っている情報は無い。
	代替・類似サービスの有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 同目的として、多摩北部圏域の地域リハビリテーション支援センター事業幹事会が実在しているが、当市の現状を検討する会ではない。

事業コード 4-3-3	事務事業名 地域リハビリテーションの構築について調査・研究	所管部課 市民部 健康課
----------------	----------------------------------	--------------------

施策コード 笑2-1	施策名 健康づくりの推進	施策目標 乳幼児から高齢者まで、それぞれのライフステージに応じた、からだところの健康づくりを支援します。
---------------	-----------------	---

【一次評価】

検証項目	ランク	一次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等
A	事業の優先度 (緊急性)	2	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止
	事業の 必要性	3	
	事業主体の 妥当性	2	
B	直接のサービスの 相手方	2	
	事業内容等の 適切さ	2	
	受益者負担の 適切さ	3	
C	市民ニーズの 把握	3	

急性期から維持期までのリハビリテーションについて、切れ目なく継続して市民へ提供するためには、医療機関と地域のリハビリテーションが相互に連携をとっていくことが必要である。そのため、「症例検討会」や「施設見学会」の参加者にアンケートを実施し、庁内検討会や作業部会でどのような連携体制やシステムづくりが必要かをケアマネージャーや理学療法士等の多職種で検討している。
 今後は、医療機関と地域のリハビリテーション事業に携わる関係者が、直接、現場で起きている課題について共有することで、継続したリハビリテーションを考える機会を設けることを目的に、「症例検討会」や「施設見学会」の開催日に合わせて、多職種の意見交流会を実施する予定である。

検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目

【二次評価】

検証項目	ランク	二次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等
A	事業の優先度 (緊急性)	2	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止
	事業の 必要性	2	
	事業主体の 妥当性	2	
B	直接のサービスの 相手方	1	
	事業内容等の 適切さ	2	
	受益者負担の 適切さ	1	
C	市民ニーズの 把握	2	

保健や福祉の庁内組織とケアマネージャー、理学療法士等の専門家が連携を図りながら、適切なリハビリテーションを提供していくために、民間事業者を含めた地域におけるネットワークの構築は必要である。
 そのため、検討委員会や作業部会、症例検討会等による調査・研究の成果を明確化し、本来の目的である地域リハビリテーション構築のためのネットワーク化を図るよう具体的な取組を進められたい。

検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目

【行革本部評価】

行革本部評価	評価の判断理由及び事業実施上の課題や今後改善すべき点等
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>地域におけるリハビリテーションの構築を目的に、庁内関係課と医療機関や専門職等との情報共有を図り事例の検討会等を実施することで、地域の関係機関とネットワークを構築してきたこれまでの取組みは一定の成果である。</p> <p>今後は、これまでの調査研究段階の取組みから、地域リハビリテーションの構築についての具体的な目標を明確化し、その目標に向けた取組みについて検討すべきである。</p>